

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

届出

神戸親和女子大学 文学部 心理学科  
注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人親和学園  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 078-591-2897

（夜間） 078-591-2897

e-mail [kikaku@kobe-shinwa.ac.jp](mailto:kikaku@kobe-shinwa.ac.jp)

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

文学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人親和学園

## (2) 大学名

神戸親和女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒651-1111  
兵庫県神戸市鈴蘭台北町7丁目13-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマネ コウヘイ) 山根 耕平 (平成21年5月29日)		
学長	(ミツイ トモヨ) 三井 知代 (平成30年4月1日)		
学部長	(ササガワ ヨウコ) 笹川 洋子 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ツジカワ ノリフミ) 辻川 典文 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	年 4	人 60	年次 人 0	人 240		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	0.82倍	—倍							
志願者数	187 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
受験者数	161 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
合格者数	134 ( - ) [ 4 ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
B 入学者数	49 ( - ) [ 2 ]	— ( - ) [ - ]									
入学定員超過率 B/A	0.82										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	49 [2] (-)	- [-] (-)	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )				
4年次	/				[ ] ( )				
計			49 [2] (-)	[ ] ( )					

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



2 授業科目の概要

<文学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベシク・スキル	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2					
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2					
	健康行動学	1前	2			1						1
	ICT基礎Ⅰ	1前	1									1
	ICT基礎Ⅱ	1後	1			1						1
	総合英語Ⅰ	1前	1									3
	総合英語Ⅱ	1後	1									3
	Interactive EnglishⅠ	1前	1									1
	Interactive EnglishⅡ	1後	1									1
	小計(9科目)		10	0	0	1	2	0	0	0	0	7
外国語コミュニケーション	Interactive EnglishⅢ	2前	1									1
	Interactive EnglishⅣ	2後	1									1
	Interactive EnglishⅤ	3前	1									1
	Interactive EnglishⅥ	3後	1									1
	Face to Face English	1後	1									1
	留学英語	1前	1									1
	フランス語Ⅰ	1前	1									1
	フランス語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅲ	2前	1									1
	中国語Ⅳ	2後	1									1
韓国朝鮮語Ⅰ	1前	1									2	
韓国朝鮮語Ⅱ	1後	1									1	
韓国朝鮮語Ⅲ	2前	1									1	
韓国朝鮮語Ⅳ	2後	1									1	
文化の人間	哲学	1後	2									1
	心理学概論	1前	2			2						1
	日本史	1後	2									1
	世界史	1後	2									1
	文学と文化	2前	2									1
リベラルアーツ	法学	1前	2									1
	社会学	1前	2									1
	日本国憲法	1後	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	ポランティア実習	1前	1									1
	環境教育論	2前	2									1
	情報と社会	2前	2									1
	現代と金融	2後	2									1
	人権問題	2前	2									1
	家族社会学	1後	2									1
	女性学	1前・後	2									1
	少子社会	2前	2									1
生命と自然	基礎体育学	1後	1									2
	物理学	1後	2									1
	人間と自然	1前	2									1
	栄養学	1後	2									1
	数学	1前	2									1
	地球環境	2後	2									1
	神戸学	2前	2									1
多文化を生きる	多文化社会	2後	2									1
	国際理解教育論	2後	2									1
	海外語学研修	1休	3									1
	海外英語研修	1休	3									1
	アジア文化研修	1休	2									2
	情報科学	1前	2									1
	情報処理演習A	2前	2									1
情報処理演習B	2後	2									1	
情報処理演習C	2前・後	2									1	
キャリアデザイン	キャリア探求Ⅰ	1後	2			1						1
	キャリア探求Ⅱ	2前	2			1						1
	キャリアアップA	3前	2									1
	キャリアアップB	3後	2									1
	キャリアアップC	4後	2			1						1
	インターンシップA	2前・後	1									1
	インターンシップB	2前・後	1									1
海外インターンシップ	2前	2									1	
日本語コミュニケーション(留学生)	日本語Ⅰ	1前	1									2
	日本語Ⅱ	1前	1									1
	日本語Ⅲ	1後	1									1
	日本語Ⅳ	1後	1									1
	日本語Ⅴ	2前	1									1
	日本語Ⅵ	2前	1									1
	日本語Ⅶ	2後	1									1
	日本語Ⅷ	2後	1									1
	日本語能力試験Ⅰ	1前	1									2
	日本語能力試験Ⅱ	1前	1									1
	日本語能力試験Ⅲ	1後	1									1
	日本語能力試験Ⅳ	1後	1									1
	日本事情Ⅰ	2前	2									1
	日本事情Ⅱ	2後	2									1
日本事情研究Ⅰ	2前	2									1	
日本事情研究Ⅱ	3後	2									1	
小計(76科目)		-	0	120	0	0	3	0	0	0	0	51
合計(85科目)		-	10	120	0	1	3	0	0	0	0	62

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベシク・スキル	基礎演習Ⅰ	1前	1					3				
	基礎演習Ⅱ	1後	1					2	1			
	健康行動学	1前	2									1
	ICT基礎Ⅰ	1前	1									2
	ICT基礎Ⅱ	1後	1									2
	総合英語Ⅰ	1前	1									4
	総合英語Ⅱ	1後	1									4
	Interactive EnglishⅠ	1前	1									1
	Interactive EnglishⅡ	1後	1									1
	小計(9科目)		10	0	0	0	0	3	1	0	0	9
外国語コミュニケーション	Interactive EnglishⅢ	2前	1									1
	Interactive EnglishⅣ	2後	1									1
	Interactive EnglishⅤ	3前	1									1
	Interactive EnglishⅥ	3後	1									1
	Face to Face English	1後	1									1
	留学英語	1前	1									1
	フランス語Ⅰ	1前	1									1
	フランス語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅲ	2前	1									1
	中国語Ⅳ	2後	1									1
韓国朝鮮語Ⅰ	1前	1									3	
韓国朝鮮語Ⅱ	1後	1									1	
韓国朝鮮語Ⅲ	2前	1									1	
韓国朝鮮語Ⅳ	2後	1									1	
文化の人間	哲学	1前	2									1
	心理学概論	1前	2			2						1
	日本史	1後	2									1
	世界史	1後	2									1
	文学と文化	2前	2									1
リベラルアーツ	法学	1前	2									1
	社会学	1前	2									1
	日本国憲法	1後	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	ポランティア実習	1前	1									2
	世界の現状と課題	1後	2									1
	環境教育論	2前	2									1
	情報と社会	2前	2									1
	現代と金融	2後	2									1
	人権問題	2前	2									1
	家族社会学	1後	2									1
	女性学	1前・後	2									1
少子社会	2前	2									1	
生命と自然	基礎体育学	1後	1									2
	物理学	1後	2									1
	人間と自然	1前	2									1
	栄養学	1後	2									1
	数学	1前	2									1
	地球環境	2後	2									1
	神戸学	2前	2									1
多文化を生きる	多文化社会	2後	2									1
	国際理解教育論	2後	2									1
	海外語学研修	1休	3									1
	海外英語研修	1休	3									1
	アジア文化研修	1休	2		</							



(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・担当者変更のため、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・担当者変更のため、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「准教授2」、「講師1」に変更。
- ・教育指導体制充実のため、「ICT基礎Ⅰ」及び「ICT基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育指導体制充実のため、「総合英語Ⅰ」及び「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育指導体制充実のため、「韓国朝鮮語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「哲学」の配当年次を「1後」から「1前」に、「経済学」を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当者の調整により、「心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育指導体制充実のため、「ボランティア実習」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目「世界の現状と課題」を新設。
- ・担当者の調整により、「日本語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「経営学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当者変更のため、「ビジネス心理学」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者の調整により、「幅広い心理学」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の都合により、「自然環境と心理」を「1前」から「1休」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	128 科目	0 科目	153 科目	25 科目 [ 0 ]	129 科目 [ 1 ]	0 科目 [ 0 ]	154 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{153} = \boxed{\phantom{0}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	体育館新築に伴う変更					
	校舎敷地	17,904 18,129 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	17,904 18,129						
	運動場用地	9,523 11,423 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	9,523 11,423						
	小 計	27,427 29,552 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	27,427 29,552						
	そ の 他	5,870 3,745 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	5,870 3,745						
	合 計			m <sup>2</sup>	33,297 m <sup>2</sup>						
(2) 校 舎	専 用	20,469 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	共用する他の 学校等の専用	計	別途、大学院・通信教育 課程で使用するサテライト キャンパス(フロア賃貸)743 m <sup>2</sup> 有 契約解除による変更					
	( 20,469 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	20,469 m <sup>2</sup> ( 20,469 m <sup>2</sup> )						
(3) 教 室 等	講 義 室	30 33 室	演 習 室	16 14 室	実験実習室	17室	情報処理学習施設	4室	語学学習施設	0室	用途変更等に伴う変更
					(補助職員 人)		(補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	文学部 心理学科				9 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
	文学部心理学科	251,206 [45,382] 249,500 [45,310] (251,206 [45,382]) (249,500 [45,310])	3,872 [2,664] 4,378 [3,168] (3,872 [2,664]) (4,378 [3,168])	2,370 [2,311] 2,873 [2,814] (2,370 [2,311]) (2,873 [2,814])	4,412 4,375 (4,412) (4,375)	3,083 2,875 (3,083) (2,875)	0 (0)		教育研究用機器備品及 び管理用機器備品の増 減に伴う変更		
計	251,206 [45,382] 249,500 [45,310] (251,206 [45,382]) (249,500 [45,310])	3,872 [2,664] 4,378 [3,168] (3,872 [2,664]) (4,378 [3,168])	2,370 [2,311] 2,873 [2,814] (2,370 [2,311]) (2,873 [2,814])	4,412 4,375 (4,412) (4,375)	3,083 2,875 (3,083) (2,875)	0 (0)	図書の受け入れ、除却 による増減のための変 更。なお、学術雑誌に ついては、大学図書館 コンソーシアム連合に よるカウント方法が変 更されたための変更。				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	2,740 m <sup>2</sup>		249		236,000						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			5,122 4,811 m <sup>2</sup>	弓道場(射場・的場) テニスコート3面	ト レ ー ニ ン グ 室 エ ア ロ ビ ュ ス タ ジ オ 多 目 的 ダ ン ス 室	体育館新築に伴う変更		
	5,122 4,811 m <sup>2</sup>										
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当たり研究費等	500千円	500千円	図書購入費	9,050千円	9,050千円		9,050千円		
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	56,994千円	56,994千円	56,994千円				
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,400千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、手数料、資産運用収入、第3号基本金引当特定預金を財源として経費を支弁する。									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	神戸親和女子大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	120	0	300		0.94	0.74		昭和41	兵庫県神戸市北区 鈴蘭台北町7丁目13番1号	
国際文化学科	4	60	0	240	学士 (文化学)	0.93	0.67		平成15	同上	
心理学科	4	60	0	60	学士 (心理学)	-	0.82	-	令和3	同上	
発達教育学部	4	295		1,360	-	0.89	0.68	-	平成17	同上	
児童教育学科	4	215	0	840	学士 (児童教育学)	0.93	0.70		平成17	同上	定員変更(20)
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年度学生募集停止
福祉臨床学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成17	同上	令和元年度学生募集停止
ジュニアスポーツ教育学科	4	80	0	300	学士 (スポーツ教育学)	0.89	0.63		平成20	同上	定員変更(20)
大学全体(学部)	-	415	0	1,660	-	-	-	-	-	-	
発達教育学部(通信教育課程)											
児童教育学科(通信教育課程)	4	200	400	1,600	学士 (児童教育学)	0.08	0.06	-	平成18	同上	
福祉臨床学科(通信教育課程)	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成18	同上	令和元年度学生募集停止
大学院文学研究科	2	35		70		0.51	0.51				
心理臨床学専攻	2	15	-	30	修士 (心理学)	0.37	0.47	-	平成14	同上	
教育学科専攻	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.70	0.55	-	平成14	同上	
大学 の 名 称	〇 〇 短 期 大 学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数		備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<文学部 心理学科>

(1) -① 担当教員表

(掲載省略)

(1) -②担当教員表に関する変更内容

(掲載省略)

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	1	0	9	0	5	3	1	0	9	0
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	3	1	0	9	0	5	3	1	0	9	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(掲載省略)

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(掲載省略)

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成〇〇年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成△△年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成□□年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和□□年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <文学部 心理学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 体育館 (1811㎡)	① 学生の修学環境を改善するため、体育館 (3311㎡) を新設した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況            ファカルティ・ディベロップメント推進委員会            授業評価専門部会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)            ファカルティ・ディベロップメント推進委員会、授業評価専門部会ともに年間4回程度開催。            ファカルティ・ディベロップメント推進委員会では、全体での研修会、学科別での活動を実施。            授業評価専門部会では、春・秋の年2回、学生による授業評価を実施。            ファカルティ・ディベロップメント推進委員会、授業評価専門部会ともに原則全委員が参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等            【ファカルティ・ディベロップメント推進委員会】            FD活動計画、報告について (研修会の企画・実施、研修会の参加状況報告等)            【授業評価専門部会】            授業評価の実施について (学生、教員へのアンケート実施、アンケート項目の検討、            教え方の優れた授業の公表、教員アンケート結果公表等)</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン授業に関する研修会              オンライン授業とMicrosoft Teamsの使い方              テレビ会議システムZoomの使い方              オンライン学習支援の充実～動画教材とコミュニケーションを充実させる～              オンライン授業の内容及び方法の改善に向けて              授業の質向上をめざして</li> <li>・ 学科別活動 (心理学科)              心理学の講義、実験科目などにおけるteamsやzoomを用いた遠隔授業の問題点とその解決策</li> <li>・ パソコン必携化に関する研修会</li> <li>・ 学生による授業評価アンケート</li> <li>・ 教員へのアンケート</li> <li>・ 学生による授業評価アンケートでの教え方の優れた授業の公表</li> <li>・ 教員へのアンケート結果の公表</li> </ul>
--

b 実施方法

- ・ 研修会の内容を委員会で検討したうえで、FD研修会をZoomにて実施。
- ・ 学生による授業評価については、全教員、全科目（一部、実施形態が異なる科目を除く）対象にアンケートをWEBにて実施。各教員にアンケート結果を配付する際に、教員に授業評価実施についてのアンケートをWEBにて実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

オンライン授業に関する研修会（全専任教員）

- ・ 2020年4月9日（木） 参加者：70名 参加率：95.9%
- ・ 2020年4月10日（金） 参加者：69名 参加率：94.5%
- ・ 2020年5月16日（土） 参加者：50名 参加率：68.5% ※
- ・ 2020年5月20日（水） 参加者：24名 参加率：32.9% ※ ※は同じ内容
- ・ 2020年9月4日（金） 参加者：69名 参加率：94.5%
- ・ 2020年9月11日（金） 参加者：67名 参加率：91.8%

学科別活動（心理学科）

- ・ 2021年2月5日（金） 参加者：8名 参加率：88.9%

パソコン必携化に関する研修会

- ・ 2021年3月19日（金） 参加者：71名 参加率：97.3%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

2021年度入学生より、パソコン必携化。

コロナ禍でもオンライン授業におけるMicrosoft Teamsの原則利用。

教員に対して、授業評価結果から授業のやり方を見直したかどうかのアンケートを実施。

年度始めには、各教員が学生の授業に対する評価や要望等を把握したうえで授業改善に取り組むため、授業改善計画を作成し、年度末に計画に対する自己評価をしている。収集した計画書および自己評価は、学内LANシステムにて教員間で情報の共有をし、授業内容の改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施時期

- 2020年7月23日（木）～2020年8月12日（水）
- 2020年12月21日（月）～2021年1月26日（火）

実施方法

学務システムにて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対して、学務システムにて結果公開し、WEB上で学生からの意見を閲覧可能としている。

また、各教員のアンケート結果について、対象科目と全科目の平均との比較できる資料を各教員に配付している。

学生に対しては、学務システムと掲示にて教え方の優れた授業一覧を公表。教員へのアンケート実施後、結果を学務システムと掲示にて公表。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成3年度の入学者は定員60名のところ49名であり、入学定員充足率は0.82であった。(発達教育学部心理学科を合わせた平均入学定員充足率は0.90) 次年度に向けて、学生確保についてオープンキャンパスの実施、協定校・指定校の開拓、高校訪問の充実などを図り、学生確保に努めていくこととしている。

計画通りに担当教員を確保することができ、教育課程を実施計画通り実施できる見込みである。設置の趣旨・目的を達成すべく教育内容の充実に努める。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表(予定)時期

・平成3年度に受審する認証評価の結果を含めて、令和4年4月を目途に公表する予定である。

###### b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布するとともに、希望があった学生や教職員等に配布する。  
・大学ホームページ上に公開予定(令和4年4月を予定)

##### ③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和3年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受ける予定。点検評価報告書、評価資料等を提出済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2~3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。